



広瀬橋付近で見られるオオハクチョウは、冬の風物詩 (提供:広瀬川の清流を守る会)

遠くに行けない人は、近くの川辺や海辺を散策して、冬を楽しむ。NPO法「広瀬川の清流を守る会」代表理事の目下均さんに、冬の広瀬川について聞いてみた。

広瀬川散策

渡り鳥、川霧 癒やしの冬景色



教えてくれた人

広瀬川の清流を守る会 代表理事 目下均さん

「多い時はハクチョウだけで30〜50羽が飛来します。暖かくなる3月ごろまでいますね」



青葉区荒巻の三居沢不動尊は、寒い日が続くと滝が凍り、氷柱が見られる (提供:広瀬川ホームページ)



青葉区霊屋下の評定河原大露頭。雪が積もると水墨画のような世界になる

「多分、一面が真っ白になる時もある。水辺を歩きながら渡り鳥や雪景色を見ていると、心が癒やされます」

12月8日広瀬川清掃活動

「広瀬川の清流を守る会」は年10回河川清掃を行っている。次回は12月8日(土)に開催。終了後に焼き芋会のお楽しみもある。希望者は事前に参加申し込みを。

日時/12月8日(土)10:00~●●
会場/広瀬橋河川敷(太白区長町側)
参加無料、長靴・軍手持参
問/Tel.022-247-6522

寒い時こそ 外遊び

スノーシュー トレッキング

新雪踏みしめ森を巡る



蔵王町にはスノーシュートレッキングに適したコースがいくつもある。初心者はガイド付きのツアーに参加するのがお勧めだ (提供:蔵王町観光物産協会)

ふかふかの新雪を踏みしめながら森を散策し、大の字になつて寝転び空を見上げる。冬だから楽しめる。県内各スキー場やアウトドア用品店は、スノーシューに使うのが「スノーシュー」。西洋かんじきとも呼ばれ、登山靴

特別な技術は不要



動物の足跡が見られることも



蔵王町観光物産協会が貸し出しているスノーシュー

「特別な技術は不要」真つ白な雪原を歩けるのが魅力です。雪景色を楽しんだり、雪面に残る動物の足跡を見つけたら、非日常の体験ができます」と話す。防寒具や登山靴、ゴーグルなどの装備は必要だが、特別な技術は必要なく、すぐに始められる。「体力に自信がない人や雪に慣れない人は、ガイド付きのツアーに参加してはどうでしょうか」

「ことりはうす」で雪上トレッキング

宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」は、スノーシューを履いて深雪の銀世界を歩き、冬芽を観察したり動物の足跡をたどったりする「雪上トレッキング」を開催する。定員各回20人、予約可。

日時/2019年1月20日(日)~3月17日(日)の毎週日曜日10:00~12:00
所/ことりはうす 蔵王町遠刈田温泉字上ノ原162-1
費用/300円(保険料含む、入館料別)
問/Tel.0224-34-1882